

令和4年度 学校評価表

宮崎県立宮崎農業高等学校

部	今年度の取組	自己評価	学校関係者評価	講評
学校全体	1 生徒一人一人の可能性を高める教育の推進	C	A	○毎年、職員が入れ替わる中で、よく取り組んでいる。これからも引き続き頑張っていて欲しい。
	2 豊かな人間性を育み、個性を大切にされた教育の推進	B		
	3 生徒や保護者、地域の期待に応える教育の推進	B		
	4 働き方改革と教育内容の充実を図る教育の推進	C		
	5 教育環境の充実と安全な学校教育の推進	C		
教務部	1 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の実践	B	A	○これからの社会でICTの活用は当然のことである。使いこなせて当たり前。社会的評価も高まる。
	2 授業等におけるICT機器の活用と検証	B		
	3 観点別評価の導入に向けた研修等の実施	B		
広報情報部	1 わかりやすく効果的な広報活動	B	A	○PR動画がよかった。新聞記事などにもよく掲載されている。
	2 校務支援システムや情報機器の活用支援	B		
教育相談部	1 転退学者ゼロに向けての支援	B	A	○今年の宮崎農業高校の重点取組。教育相談部が生徒たちの心の拠り所になっている。
	2 個別支援のための情報収集と支援スキルUP	B		
	3 全職員共通認識下でのトラブルゼロの生徒指導及び支援	C		
生徒指導部	1 基本的生活習慣の確立	B	A	○コロナ禍で多くの制限がある中、よく工夫して取り組まれている。
	2 規範意識の高揚	B		
	3 生徒会活動や部活動の活性化	B		
進路指導部	1 生徒の多様なニーズに対応した進路実現	A	A	○ほぼ100%進路決定。生徒にキャリアデザインを描かせ、夢実現のために様々な支援がなされている。
	2 進路情報の共有化・データベース化	B		
	3 「突破する力」の育成	A		

部・科	今年度の取組	自己評価	学校関係者評価	講評
農務部	1 新規導入施設・設備を有効に活用した農業教育の実践	B	A	○新しい時代を見据えて、各学科、特色ある取組をされている。 ○これからも社会や時代が求める人材の育成に期待している。
	2 地域や関係機関との連携による人材育成	B		
生物工学科	1 主体的に行動し、進路実現を図る生徒の育成	B		
	2 地域と連携し、地域の期待に応える教育の推進	C		
	3 時代の変化や社会のニーズを踏まえた学科の特色化	B		
生産流通科	1 専門的な技能を身につけた生徒の育成	B		
	2 新学習指導要領の趣旨を踏まえた指導方法の確立	B		
	3 特色ある学科づくり	B		
食品工学科	1 自信と誇りをもたせる	A		
	2 専門力をつけさせる	B		
	3 社会性を身につけさせる	B		
環境工学科	1 農業土木技術者の育成	B		
	2 基礎学力の向上	B		
	3 特色ある学科づくり	B		
生活文化科	1 専門的知識・技術の定着	B	A	○これからも、ぜひ、意欲ある保育士の育成をお願いしたい。
	2 課題解決能力を身に付けた生徒の育成	B		
	3 地域社会で活躍できる生徒の育成	B		

【自己評価】 A：目標を十分に達成できた B：目標に向けて取り組んだ C：目標を達成できなかった

【学校関係者評価】 A：たいへんよい B：ふつう C：努力が必要